

事に任じ、ついで大阪府権判事から河内、兵庫、堺、奈良等各県の知事を歴任した。明治二十二年来元老院議員、官中顧問官、枢密顧問官を歴任する。子爵。

⑤7 前田正名（一八五〇—一九二二） 薩摩藩士。弘庵と称する。長崎に遊学して英語を学び、上海に密航して英和辞書を版行。明治二年フランスに留学、同八年仏国公使館二等書記官となり翌年帰朝。明治十四年大蔵、農商務省の大書記官となる。のち農商務省各局長、東京農林学校長などを歴任し、明治二十三年農商務次官となる。わが国の農業、地方産業の育成に努めた。男爵。

附記

本日記をもとにした仁礼らの動向、派遣の経緯、意義と役割などについては、『日本歴史』第四五三号（昭和六一年二月、吉川弘文館）に、「第二次薩摩藩米留學生覚え書―日米文化交流史の一齣―」と題し小論にまとめておいたので、合わせ参照願えれば幸である。

④9 木場伝内（一八一四～一八九一） 薩摩藩士。名は清生。安政五年大島詰目付から文久三年大坂留守居となり、維新運動に活躍。明治二年徴士大阪府判事、大参事を経て同三年官内権大丞となる。ついで明治七年文部省督学局大視学、十年式部三等属兼一級掌典補にあげられる。

⑤0 海江田信義（一八三二～一九〇六） 薩摩藩士。武次と称す。嘉永五年江戸に出府し尊攘運動に挺身。帰藩後誠忠組の中心として活動した。寺田屋事変、生麦事件に関係、明治元年東海道先鋒総督府参謀となる。ついで軍務官判事、刊部大丞、奈良県知事を歴任し、明治十四年元老院議官に任じた。

⑤1 横井小楠（一八〇九～一八六九） 熊本藩士。名は時存。平四郎と称す。天保十年に江戸遊学、藤田東湖らと交わり水戸学の影響をうける。安政五年から文久三年にかけて四回にわたり福井藩に招かれその政治顧問となる。明治元年新政府の参与となったが、翌二年京都で暗殺された。

⑤2 小松帯刀（一八三五～一八七〇） 薩摩藩士。名は清廉。側役、大番頭などを経て文久二年家老にあげられた。慶応二年正月薩長同盟に参画、王政復古の際には薩摩藩代表として活躍する。明治元年参与兼外国事務掛、同九月には外国官副知事を兼ね玄蕃頭に任じられる。明治二年大久保利通らと版籍奉還を画策するも翌年大阪で病没した。

⑤3 伊地知貞馨（一八二六～一八八七） 薩摩藩士。壮之丞と称す。ま

た堀仲左衛門とも称した。江戸の昌平學に学び、広く志士と交わる。寺田屋事変後に江戸藩邸留守居に転じ、さらに慶応二年当番頭勝手方掛となる。明治元年、参政に任じ藩政改革に従い、同四年以後外務省に出仕し琉球藩在勤となる。明治十四年以来修史局編修に任じらる。

⑤4 五代友厚（一八三五～一八八五） 薩摩藩士。才助と称す。安政四年長崎海軍伝習所に入り航海、砲術、測量等を習得。文久二年幕府派遣の千歳丸に乗船して上海に行く。文久三年薩英戦争の際、寺島宗則と共に英艦の捕虜となるが間もなく脱走。慶応元年留学生を率いて渡英、帰国後御納戸奉行格御用人席外国掛を命じられる。維新後は参与職外国事務掛、大阪府判事などを歴任し、主として大阪にあつて新政府の外交談判の衝に当った。明治二年官を退き大阪で実業界に身を投じた。明治十一年には大阪商法会議所を設立、また同十三年大阪商業講習所を創設し大阪の近代化に努めた。

⑤5 松方正義（一八三五～一九二四） 薩摩藩士。助左衛門と称す。大番頭座書役から島津久光の側近となり寺田屋事変、生麦事件に関係、慶応三年軍賦役として活躍。明治元年長崎裁判所参謀、同三年民部大丞、以後租税権頭、大蔵省三等出仕、大蔵大輔を歴任し、明治十四年参議兼大蔵卿となり紙幣整理に当った。同二十四年、二十九年に総理大臣。晩年は元老として薩閥政界の中心的存在であった。

⑤6 税所 篤（一八二七～一九一〇） 薩摩藩士。長蔵と称す。第一次征長の役に活躍、以後維新運動に挺身する。明治元年内国事務局権判

東京外国語学校長を経て、明治二十七年第三代名古屋市長となる。

- ④② 磯永彦輔（一八五二～一九三四） 薩摩藩士。藩立開成所で英学を学び、慶応元年藩留学生として十三歳で渡英、スコットランドの Aberdeen の中学校で修学。慶応三年米国に渡り T・L・ハリスの コロニイ「新生社」で修業。一八七五年カリフォルニアのサンタローザにハリスとともに移住し葡萄園を経営する。一九〇六年ハリスの死後その遺産を継承し、「葡萄王」といわれるほどの成功をおさめた。昭和九年八十三歳の高齢でサンタローザに死去した。変名長沢鼎で生涯を通じた。

- ④③ 日下部太郎（一八四五～一八七〇） 福井藩士。八十八と称す。慶応元年藩命で長崎へ遊学英学を修め、同三年米国留学、ラトガース大学に学ぶ。在学中常に首席を通し、成績抜群であったが肺を病み、卒業を目前にして二十六歳で客死した。

- ④④ 勝小鹿（一八五二～一八九二） 幕臣勝海舟の長男。慶応三年富田鉄之助、高木三郎と共に米国へ留学、ニューブランズウィックのグラマースクールを経てアナポリス海軍兵学校に入学。正規の海軍士官教育を受けて明治十年に卒業帰国。翌明治十一年海軍大尉に任じられ、ついで少佐に進む。明治二十年造船会議議員などを歴任するも、同二十一年十月病のため、待命預備役となる。

- ④⑤ 青木善平 福岡藩士。慶応三年七月、同藩の平賀磯三郎、本間英一郎、井上六三郎等と米国へ留学。ボストンで勉学生活を送ったが資金

続かず明治元年九月帰国。

- ④⑥ 富田鉄之助（一八三五～一九一六） 仙台藩士。名は実則。安政三年江戸の勝海舟の塾で洋学を学ぶ。慶応三年七月、勝小鹿、高木三郎と共に米国に留学。ニューブランズウィックのグラマースクールからニューアークにあるホイットニービジネスカレッジに入学。商業経済を学び明治四年帰国。帰国後はニューヨーク総領事、英国公使館一等書記官、大蔵大書記官を歴任し、明治二十一年日本銀行総裁となった。同二十四年東京府知事となる。同二十七年官を退き、以後は実業界で活躍した。

- ④⑦ 高木三郎（一八四一～一九〇九） 庄内藩士。安政六年軍艦操練所から勝海舟の塾に入る。慶応三年七月、勝小鹿、富田鉄之助と共に米国へ留学、ニューブランズウィックのグラマースクールに学ぶ。明治四年帰国。同五年米国弁務使館書記、同九年ニューヨーク領事となり、十三年に辞職。同三十一年生糸商社問合会社々長となり、国産生糸直輸出に尽力した。

- ④⑧ 寺島宗則（一八三二～一八九二） 薩摩藩士。陶蔵と称す。弘化二年江戸遊学、蘭学を学び、安政三年幕府蕃書調所の教授手伝となる。文久元年第一回遣欧使節随員として渡欧。慶応元年薩摩藩の遣英使節の一員として渡英。翌年帰国。帰国後は維新運動に挺身し、明治元年参与外国事務掛、その後神奈川県知事、外務大輔、参議兼外務卿を歴任。明治十四年元老院議長を経て同二十一年枢密顧問官となる。伯爵。

コネチカット生れ、アメリカのダッチ・リフォーム派の宣教師。中国で布教活動に従事したのち、一八五九年シモンズ、フルベッキを伴い来日。横浜で日本語の研究、聖書の翻訳をするかたわら日本人に英語を教える。一八六七年自宅が火災にあい一時帰国。一八六九年再び来日、新潟英語学校教師、横浜修文館教師をつとめた。一八七三年自宅に神学塾を開き、キリスト教界の日本人指導者育成につとめ、聖書の翻訳につくした。一八七九年に帰国しモンソンで没した。

- ③⑤ 谷元道之(一八四五〜一九一〇) 薩摩藩士。兵右衛門と称す。慶応初年長崎に至りロシア軍艦で密航を企てるも失敗、上京して福沢諭吉の慶応義塾に入り英学を修得。慶応三年野村一介と米国に留学、明治元年九月帰国、同二年外務省出仕、外務権大丞を経て同三年再び米国学、翌年帰朝し、海軍大主計、海軍主計中監を歴任する。明治十四年官を退き東京馬車鉄道株式会社を創設社長となる。同二十二年東京株式取引所頭取、翌年衆議院議員に選ばれる。のち株式事件に坐して入獄、晩年は仏教研究に専念した。

- ③⑥ スタッフォード (Stafford) モンソンから南へ二十キロほど行った湖畔の町。

- ③⑦ ウイルブレーム (Wilbraham) モンソンから北西へ十キロほどの距離にある町。ウイルブレーム・アカデミー (Wilbraham Academy) という専門学校があった。留学生仲間の一人吉田清成が入学した。

- ③⑧ 鮫島尚信(一八四五〜一八八〇) 薩摩藩士。誠蔵と称する。文久

元年長崎に遊学し英学を学ぶ。帰藩後藩立開成所の訓導師となる。慶応元年薩藩留学生として渡英、ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジに学ぶ。ついで米国に渡る。明治元年森有礼と共に帰国、七月徴士外国官権判事、東京府判事、外務大丞を歴任し、同三年少弁務使に任じられフランスに駐在、同八年帰国し外務大輔、十一年再び特命全権公使として渡仏するも、激務に耐えられず在職中に客死した。

- ③⑨ アメニヤ (Amenia) ニューヨークから北へ百二十キロほどの距離にある山あいの村。T・L・ハリスのコロニー「新生社」が一時置かれていた。

- ④⑩ 伊東祐亨(一八四三〜一九一四) 薩摩藩士。四郎左衛門と称す。幕府の神戸海軍操練所、江戸の江川太郎左衛門塾で砲術を学ぶ。慶応三年七月、同藩の木葉十蔵と共に渡米するも、サンフランシスコに着後直ちに帰国した。同年十二月江戸の薩邸焼打ちの際、翔鳳丸にあつて砲手として活躍、のち軍艦春日丸に移乗し、明治元年阿波沖海戦で奮戦する。以後海軍にあつて累進、明治二十四年中将に進み、日清戦争では連合艦隊司令長官として活躍した。同三十一年大将、日露戦争の大本営海軍幕僚長、戦後元帥となった。

- ④⑪ 柳本直太郎(一八四八〜一九一三) 福井藩士。名は直満。文久二年藩命により江戸の蕃書調所で英語を学び、ついで横浜に出て実地英語を修業する。慶応三年四月米国に赴き海外事情を探索し十月に帰国。明治三年華頂宮博経親王に随行して再び渡米、帰朝後は文部省に入り

中江九右エ門、肥後某ニ見ル。永見ト云宿屋江行谷元兵(谷元道之)ト同宿ス。

同四日

野村宗七来ル。昼後前田弘来ル。帰ル後谷同道ニテ「フルベッキ」ヲ見ルニ行キ面會。彼云明日米軒江行ク舟アリ。依テ取込ト云エリ。我ニモ書状ヲ贈ランコトヲ欲シ帰レリ。其夜書状ヲ認ム。

同五日

ミストル「ロビ子(ネ)ツト」中間「スケツト」云人商館江書状ヲ遣サンコトヲ願ニ行キ帰レリ。四時ヨリ「フルベッキ」宅江行ク、彼レ留守故帰レリ。

同六日

十二時頃ヨリ野村宗并家内中来レリ。三時半比ヨリ永見宿出足、谷(谷元)前(前田)、同道ニテモノ木ニ来ル。田尻氏跡ヨリ来レリ。都テ一宿。

同七日

七時出船。

(日記第三冊終)

[注]

③⑩ パーマー (Palmer) モンソンの北八キロほどの所にある町。

③① 吉田清成(一八四五〜一八九一) 薩摩藩士。已二と称す。薩摩藩開成所に学び、慶応元年渡英、のち米国に移る。帰国後の明治四年大蔵少輔、同七年米国公使、同十五年外務大輔、同十九年農商務次官となる。わが国の証券取引所条例の作成に努めた。子爵。

③② 岩下方平(一八二七〜一九〇〇) 薩摩藩士。左次右衛門と称す。家老格の上士階級ながら尊攘派の誠忠組の指導的人物となり、江戸詰側用人から慶応元年家老となる。慶応二年パリ万国博覧会開催に当り、藩の使節として渡仏。同三年十二月参与。維新後は外国事務局判事、京都府権知事、大阪府大参事を経て、明治十一年元老院議員に任ぜられた。子爵。

岩下を全権とする薩摩藩万国博覧会使節団が鹿児島を出発したのは慶応二年十一月十日(新曆十二月十六日)で、パリ到着は翌年一月二日(一八六七年二月六日)である。

③③ 幕府勘定吟味役小野友五郎(広胖)を全権とする甲鉄艦受取交渉使節団のことをさすと思われる。慶応三年一月二十三日(新曆二月二十七日)に横浜を出帆、同三月十九日(新曆四月二十三日)にニューヨークに到着した。

③④ ブラウン Brown, Samuel Robbins (一八一〇〜一八八〇) 米国

見舞、彼レニモ大ヒニ悦へリ。

同二十一日

肥後藩横井平四郎殿江見舞、彼之二子⑤①の書状并傳言ヲ達セリ。彼大ヒニ喜悅セリ。小松君江見舞、⑤②歸ニ伊地知壯之丞江行ケリ。

同二十二日

鎌田十君江九時頃ヨリ行四時比ヨリ有村甲君来レリ。三人同道ニテ加茂辺江遊歩ヲ成セリ。歸ニ小松家江行西洋料理ヲ食ス。亦々鎌田江行一宿ス。

同二十三日

昨夜鎌田氏江一宿ス。岩下佐君江見舞、御屋敷江御届ニ出ル。御金五拾兩仕舞料トシ被下。昼後ヨリ町田民殿江行七時頃迄咄セリ。

同二十五日

九時頃ヨリ鎌田十君来レリ。海江田ニモ在宿也。三時頃出立伏見江行北郷愛甲新介ニ逢ヒ八時頃同道ニテ出船セリ。

同二十六日

夜四時着板。食後播摩ヤ江五代才介、⑤④松方助左衛門江見舞、川崎強八ニも来レリ。四時税所長殿江見舞、⑤⑤木場傳内ニも来レリ。大抵九時頃歸レリ。然ルニ五代の明朝迄ノ間蘭船出帆有之候間、今も出立可致旨告ケ来レリ。依而舟手当不成風甚敷こと不斜駕籠を陸地ヲ行ケリ。神戸江六時過着舟ノ都合ヲイタセリ。而後東条慶二江逢ヒ兩替ノ一条ヲ頼メリ。歸ニ谷村小吉所江行終日滞在也。六時前乗船十

二時頃出船也。

同二十七日

昨夜十二時頃出船也。昼過ヨリ雨降掛念ト見得矢嶋近江滞舟也。

同二十八日 曇

未明ヨリ出船也。向風ニテ船不進也。

同二十九日

夜中ヨリ向風甚シク故船進ミ行コト不能跡ニ二十里位歸レリ。長州ノ内也。平郡島ト云所江凡八時を碇泊ス。昼時分ヨリ加藩後藤春閣、土藩山本吉次、其外町人共同道ニテ上陸セリ。風呂并食事共手当イタシ夜入過歸船セリ。

十月朔日

同断滞泊。今朝或町人ヨリ聞ケリ。大坂異館近辺ニテノコトトミヘタリ。或異人風呂屋ニテ一人ノ女ヲ殺セシト聞ケリ。実説ナラン歟。長崎町人草野屋丈吉ト云者大坂江異館造立政府ヨリ拜借大抵八千兩位入目ノ由也。昨日同断上陸セリ。

同二日 晴

昨夜十二時過ヨリ出船。浪静カニシテ九時過下ノ関江着船セリ。石炭ヲ取入積間ニ我々共致上陸候處、遅剋ニ及ヒ最早出船シ二町位出行候処ヲ跡ヨリ声ヲ掛漸クニシテ乗船セリ。筑前大島前ニテ夜入也。

同三日 曇

肥前平戸七八里前夜明、四時崎陽ニ着ス。汾陽喜八、平田直ノ進、

今朝空晴レ少シ凌シ。夜明前ヨリ淀揚進行、誠ニ其景色好シト云モ
 オロカ也。九時ニ横濱江安着。実ニ千秋万歳之思ヒヲ成セリ。然リ
 ト云ヘトモ日本人大腰拔ニテ掉或ハマルハダカニテ居ル者アリ。実
 ニサン／＼其有様他人ニ對シ耻カシ扨ト云ハ筆ニ難ク仍テ拙一人上
 陸寺嶋淳藏所江見舞始終ノ咄ヲ聞ケリ。戦争ノ一件等新聞紙トハ大
 ヒニ違ヒ官軍未一度モ敗ヲ不取由也。薩兵ノ士勇猛盛ナルコト実ニ
 驚天膽ヲ冷シ古今未聞ノ働也。宿屋共伊十院吉左工門詰役ニテ彼ノ
 者話ニテ都合能ク万事不成由無之、病院差越山口仲吾其外江面會追
 ヲ全快也。其夜吉所差越上野同話也。外ニ（不明）也。十二時過帰
 レリ色々ノ咄ヲ聞ケリ。其夜戦争届書読書ニテ夜ヲ明セリ。

同廿九日

昼飯後遊歩致居候処、フランス海軍士訓練有之見物セリ。致食事直
 ニ船ニ乗込五時出船也。満月海ニ光リ誠ニよき順風也。

同三十日 晴

朝々富士山見ユ。峯ニは白雪降積リ誠ニ景色言語ニ絶セリ。（不明）
 よき順風也。昼過ヨリ風少ク相立候。然レトモ格別浪立無之。

十一月一日

今朝クレ／＼ニ兵庫ノ内「コーベ」江着船直ニ仕舞方等一統一緒ニ
 致上陸（欠字）新助江見舞、岩下佐君ノ居住当分大坂ノ由也。仍テ
 我レ京大坂江行ク事ヲ決セリ。大抵十時過其港ヲ発船セリ。兩人ノ
 舟頭ニテ是レ迄蒸氣車又船ニテ横行致シ来ル候処、其遅速ナルコト

実ニ難堪。今朝教師江当名書貫候処、一人ノ人ヨリバリフル唐書一
 部ヲ我レニ送レリ。○致上陸再本船到リ候節「ベルベキ」江面會ス。
 彼レ大ヒニ悦ベリ。○ロービ子ツトモ当分所大坂江居ルト久松告
 来レリ。唯今陸ニテ面會ヲ得候トノコト也。○二時半風向直リ帆ヲ
 揚ケリ。西ノ宮少過ル所也。七時着坂、横目田尻壯七江面會宿船運
 賃等拂方ノ一条相頼、木場傳内江見舞五ツ半時宿屋江帰宿也。

日本九月十八日

朝食後中馬氏江出掛舟手当尚又頼置帰レリ。十一時前辻直次郎所江
 差越候処北郷作殿モココニアルト聞ケリ。直ニ彼ノ所江彼等ニモ伏
 見江行クト聞ケリ。故ニ拙ニモ同船ヲ願ヒ出船致候処、桜之宮少シ
 先キ江差越候処、家来武次鉄炮怪我致シ候ニ付帰坂セリ。故ニ再船
 ニ乗五時半出船也。月明カニシテ四方ニ光リ実景無極。

同十九日

八幡山少過シヨリ夜明ケ四方晴レ渡リ、淀城ニテ日出タリ。七時伏
 見江着寺田ヤ江宿、八時当所江着御屋敷江差越神宮司半殿江面會彼
 ノ宿江到レリ。而後有村甲君所江差越面會ヲ得互ニ嬉シク十二時前
 ヲリ六時頃迄相咄、海江田處江致同道十時頃迄相待居候ヘトモ海君
 帰宿無之処被致帰宿候而後海君帰宿セリ。我最早寝テ居レリ。互ニ
 満悦不斜。

同二十日

今日（欠字）主上東行ニ付五時御出輩相成、八時頃ヨリ鎌田十君江

四時半頃出船。乍然霞深く故歟港内江滞船也。米人江一封仕出也。

同四日 曇

終夜滞船也。昨日夕霞深く掛念ノ故ナラン。漸ク朝八時ニ出船也。

少シ浪立氣色不宜部屋十二番江轉宿也。

同五日 曇

同六日 曇

昨夜甲板之上部屋ニテ一人之男 musicヲ弾セリ、依テ青、久、村共

ニ聞キニ参レリ。

同八日 晴

今朝ヨリ雲晴浪和ラキ氣色甚スグレリ。

同九日 晴

今朝ヨリ浪立船少轉動シ故ニ氣色余リ不宜也。

同十日 晴

同十一日 晴

今朝ヨリ少シク暑氣相催候、朝食後日曜ニ付神拜相初ル、我ニモ彼等ノ説法ヲ聞ケリ。

同十二日

同十三日 曇

今朝ヨリ浪立氣色悪ク

今日サンドアランドヲ通ル、百五十五、二十三度位処也。

同十四日

昨日ヨリモ浪荒ク氣色悪しく食事等不進也。

同十五日 曇

同十六日 曇

今日横濱新聞紙ヲ見ル。諸所ニ於テ戦争有之薩兵共余多之戦死手負有之ト記セリ。実ニ悲歎ニ堪へ兼憤激難尽。

同十七日 曇

同十八日

但昼夜ノ區別ニ依テ除ル。

同十九日

同二十日 晴

(この間頁一枚破れあり)

同廿七日

今朝島見ユ八丈島ナラン。今朝ヨリ浪荒クテ船甚轉働氣色、然ルニ昼前ヨリ少ク浪和キ氣色モ少ク快ク相成候処、昼食後一時少シ前也。久松我ノ部屋ニ来リ富士山見得シト云エリ。直ニ甲板江上リ一見其景色実ニ宜シト云モオロカナリ。嶺ニハ白雪雲ノ如ク覆ヒ如斯景色未歐羅巴諸州ニモ未不見也。追々陸地近寄也。四時□總陸地江近寄益浪静カニ相成、五時前ヨリ月出居レリ。皆人甲板ノ上江楽ノ思ヒヲナセリ。六時頃船碇泊。何ノ訳ハ不知今夜空晴月塩ニ満其光浪ニ移リ妙也。

同二十八日 晴

同廿二日 晴

同二十三日 曇

終日涼風有之凌キ易ク也。

同二十四日

同二十五日 晴

朝嵐ニテ涼氣相成、然ル處九時(アカブルゴ)アカブルト云メエキシコノ内一港へ人民凡(欠字)位有之処也。大方黑人亦ハ(インディア)「インリヤ」ト見得タリ。

此所貝ノカラ、楢柑ノ類澤山有之処也。其外色々ノ者賣リ来候事也。

五時半ニ当港出船、涼風吹来リ一統元氣。昼ノ暑氣甚シ。此港山ニ

テ四方ヲ囲ミ小港ト雖甚要所也。臺場築立有之候ヘトモ四五跡

「フランス」ハ破壊セラレ候由ニテ当分大砲等無之。

同二十六日 曇

右(アカブルゴ)「赤ヒルコヨリ」十二時迄。

同廿七日 曇

今朝ヨリ少ク暑氣薄ク相成、十時頃ヨリ「カリホニヤ」ガルフヲ通り行ク故地方不得見ルコト。

同二十八日 晴

今朝ヨリ余程暑氣薄ク相成涼風身ニ徹皆人面白氣色ニ相見得来リ、十二時陸地見ゆ。

同二十九日

同三十日

十月朔日

同二日 晴

同三日 晴

未明霞深キ先キ不得見ルコト故ニ船速カニ進ムコト不能也。五時頃

ヨリ「サンフランシスコ」ノ地方見ユ。漸ク八時半過着船則日本行

之船江乗船。何番ノ部屋ト云フコト不相知故士官江引合相尋候処、

役所江差越彼等ヨリ差図ヲ可得旨申聞候ニ付、不案内ノ事ニテ四方

アチラコチラト行廻候折、向ヨリ一人翁杖ヲツキ被来候故船中ノ人

ナラント彼江役所ハ何ツクニテ御坐候哉ト相尋候処、彼云ク汝ハ日

本人歟ト被問候故日本人ト答エリ。彼レ云クココニ来レト云テ脇江

行キ彼ノ言葉ニ此内富田某日本江帰国致シ候得共、当時戰爭中ニテ

横濱敵国ノコトナレハ上陸スル不能故ニ再ヒ彼等歸リ来レリト云ヘ

リ。我レ上村モ一緒也。兩人共甚歎息セリ。我レ云ク彼等帰国ノ臨

ミアラハ如何様トモ尽力致シ申度ト答エリ。然ルニ段々ト咄掛ケラ

レ候トモ何分時剋出船ニ差掛リ候故部屋ノ一件ヲ彼江相尋候処、彼

役所迄同道致シ被呉凡二里位有之処也。役所ノ都合モ彼自ラ致シ被

呉、何事モ都合能ク相濟。婦ニモ馬車ノ通行ノ處迄被来富田採江差

越候都合致シ被呉実ニ親切也。富田、高木(高木三郎)モ船迄致同道色々咄共聞

ケリ。戰爭未不止トノコト也。其故彼レモ先ツ見合滞在也ト云ヘリ。

乍然日本江帰国ノコトハ間違也。此レハ幕人松元何某ト云人先度鉄

船取入ニ關係ノ人ニテ其コトニ付テ米行相成候人也。

同九月九日

朝々杉浦、村上来レリ。ホーク所へ十時過々打立、行掛時計取入方トシテ差越三十三ドラ、クサリ二十五ドラ也。其ヨリ凡十一時々ホーク所打立、船江差越候処、肥後生伊勢君(横井左平太)も参居ラレ舟ニテ別レドモ致シ候事。多人数之乗込ニ而何事モ不成由也。一時頃出船少風有之候得共浪立越之事ニ而毎之通ニしのき候物也。船ノ名Alaska。筑前藩青木(青木善平)(欠字)此レモBoston江学問トシテ昨夏到来ニ候処続金滞リ相成其レニ付帰国ト見得タリ。

九月十日 晴

六時過起リ、Take breakfast at seven clock。唐国江渡海ノ経宗一人有之、其人神拜ノ小キ書ヲ予ニ与ヘリ。順風至極平和也。乍然夜ノ子床甚アツシ。

同十一日 晴

I get up at five o'clock.

同十二日 晴

六時起七時食事ヲ成ス。

同十三日 晴

十四日

□□少し浪荒くて暑気甚敷、中々夜床ニ難入候也。

同十五日 晴

朝七時(不明)船新約克江滞泊候事と相見得此舟江立寄先日(不明)、

候得者不見は人便舟越候事度新約克江帰国也。Puba島見ユ其外小島昨日々見候。

同十六日 晴

十時ヨリ荷物掛ケメ有之、テッキ彼等ヨリ相渡シ候事。終夜鬱々トシテ甚シキ暑気難堪赤道近ク故ナラン歟。

同十七日 晴

今朝ヨリ暑気甚シク昨夜来ノ強暑ニ而寝る事不相成。二時(バナマ)江着則上陸、洋人多々住居ト見得タリ。大形黒人日用下僕也。四時過蒸キ車江乗込則出車。中途諸所黒人ノ家有之皆カヤフキニシテ至極少ク獸ト共ニ住ムトミエタリ。八時比着、少陸へ休ミ乗舟十時過食事終也。

同十八日 晴

終日当港滞在、朝ノ暑サ中々難堪昼後ヨリ雨降少シハ快ヨク相成候事。黒人等沢山ミカン酒其外ノ者賣リニ参候事。

同十九日 晴

昨夜一時ニ出船、今朝浪平和ニシテ舟行進速也。

同二十日 晴

昨夜雨降風モ少々有之、今朝甲板別テ飢物スグレリ。一時過雨降ル。日曜故経書説法ヲ成セリ。

同廿一日 晴

昨夜風雨飢物宜ク今朝同断也。

諸所器械所見物。大炮凡六十封度以上、炮千三百挺未臺作調無之、玉八山ノ如ク何ニ歟ノ澤山ナルコト実ニ我國ノ不及コト現然タリ。最兵卒装束立派ナルコト尽スタル物也。衣服要具等改方有之見得タリ。

同廿八日 晴

南ボーストン江諸所見物。器械所江差越候得共入ルコトヲ不得空クカエレリ。

同廿九日

朝後皮袋取入ニ差越十一時頃カヘレリ。昼後風呂ニ入ル賦ニテ召使ヲ呼ヒ湯ヲ以洗ヒ度ト云付候処、暫時ノ間ヲ置大ヒナルブレッツキノツボヲサゲ持来リシヲ見候処、陽ニテ此レヲ以汲セヨト娘云ヘリ。我々ノ考ニハ風呂ニ入度賦ニテ大ヒニ樂居候処、大ヒニ見込相違ニテ互ヒニ笑ヒ候事。

同三十日 晴 十二時過サシ雨降

朝食後ヨリ蒸気車ノ所不案内且亦馬車モ何ノ印ニ乗候テヨキカヲ不相分故探索ノ為差越婦ニ書物屋江到リ取入、首飾ニツ工藤ヲ注文来リ候ニ付取入ニツニテ^{1.15}。昼後帰ル賦ノ処雨降り出シ滞在候。夜中ニ何歟騒ケ敷寺ノ鐘採打立候ニ付起見候処出火ニテ候。

同三十一日 晴

朝七時半宿ヤ打立stationニ八時過直ニ蒸気車ニ乗込。アマ江十一時半過着。久松ニは十二時ノextrainより帰レリ。拙ニは齒ノ痛有之候

ニ付醫師江差越(欠字)治いたし候。二時半迄帰レリ。

西洋九月四日

朝々雨降諸所暇乞として見舞、新龍動府(ニューロンドン)ニ乗船之賦ニ候処、余リ風雨ニ而皆々掛氣との事、右ニハカニ陸地ニ差越賦ニ候処、宿亭主カカサマ採大ヒニ心配、既ニ五時前ニ相成候処、近所ノカカサマ子共見送りニ参リ出立ニ相成候処、皆々落涙ニ及ヒヘリ。吉田スヒリン(スプリングフィールド)ヒル迄来レリ。我々共十時打立、新ヘーフン(ニューヘブン)ニ乗舟新約克江五日朝五時ニ着セリ。則上陸「メリチャント」ト云宿ヤ江行ケリ。朝食後ホーク所江差越致談判候。十一時頃帰居候処永井来レリ。昼後今再ヒ致談判細事申含帰レリ。五時迄永井同道ニテ新ブランゼキ江差越、肥後、越前生日下部太郎、勝君、其外松村、杉浦江面會及長嘯、其夜永井氏宿江滞在也。

同六日

朝々皆共被来終日咄有之、書店ニ可来との事ニ而一統同道ニテ(不明)

九時迄蒸気車ノ所江来リ候処、肥後、越前、勝君ニも来リ候也。新約克江十時半ニ着セリ。

同七日

朝食後寫信取りニ差越、帰リニホーク所江到リ色々致都合候事。昼過杉浦、村上到レリ。再ヒ杉浦同道ニテホーク所江差越都而首尾談判相尋候事。

流れ来り甚景色等宜敷處也。

(注)この間記載なし。

(十二月六日)

八時車江乗組十時頃新約克江着則ホーク所江差越候處、ホーク未不
參十時半頃来り則談判イタシ、最吉田、大原之書状モ出シ候處、
此節は致し方無し。いつれ其通イタス可クトノコト也。最入費等は
是迄ノ通月末入目丈ケ可申遣トノコト也。一金六十ドラ直ニ請取ル
也。

(十二月七日)

(注)この間記載なし。

(十二月十四日)

Noda Nagai and I watered the cows and cleaned the shoes before
the breakfast.

(十二月十五日)

(十二月十六日)

I get up at half parse four. Noda, Sawai and I clean the shoes
and go water the cows tow time after the breakfast and at four
o'clock and went countinue to find out the water to drink for cows
to any place.

(十二月十七日)

I get up at five o'clock. Noda, Sawai, and I wash the dish, cup and
other things after breakfast, dinner and supper by our term.

(日記第二冊終)

千八百六十八年七月廿四日

一、モンソン七時半久松同道ニテ station 迄到ル。吉田、工藤ニモ見送
リニ来ル、直ニ蒸氣車ニ乗込出車、凡拾分ノ間ニ五里有之「パーナ
マ」ト云所江着其所ニテ車ノ来ルヲ半時位待凡八時過出車致シ、ボ
ーストン江十一時半ニスティーソン江着也。其レヨリ馬車ニテ宿江行
ケリ。凡二里位ノ處也。一時ニ昼喰シ二時比ヨリ書店ヲ尋ニ出掛候
處見出サス。一時位隙ヲ費シ宿屋ニ歸レリ。

同廿五日

朝雨降ニテ外国不致昼喰後一時半ヨリ書店尋方トシテ「ワシントン
スツレート」云ニ里位ノ處江差越書店ヲ尋出シ題書ヲ貰ヒ歸レリ。

凡四時頃也。夜食後遊歩ヲナセリ。

同廿六日 晴

sundayニ付十時過ヨリ寺江行キ候處、カトリック
ル處モナク立ナカラ見聞セリ。余程「ブレイテストアン」トハ違ヒ候、
我国佛ノ仕業ト同様ノ事多シ。余程ウヤ／＼シクカサリ等有之候。

同廿七日 晴

八時前々海軍所江到レリ。兵卒練調有之處江行逢ヒ凡一時位モ見物。

同十日^(十七日)

每之通。

同十一日^(十八日)

每之通。

同十二日^(十九日)

從九時半十一時迄學校。

同十三日^(二十日)

每ノ通寺江行ク。

同十四日^(二十一日)

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。

同十五日^(二十二日)

每之通。今日初テ雪降ル。

同十六日^(二十三日)

每之通。

同十七日^(二十四日)

每之通。

同十八日^(二十五日)

每之通。從七時久松同道ニテミストル「トーフ」所江行キ書生読書

有之十時歸レリ。外ニ書生并女來レリ。

同十九日^(二十六日)

每之通。

(新曆十一月十七日)

(注) この間記載なし。

(新曆十一月二十六日)

(新曆十一月二十七日)

朝八時鉄車江乗付十時過新約克江着「エミソン」所江差越暫時嘯共致シ、其ノ三人連合ホーク家迄行ケリ。ホーク江面會學校轉シ度トノ談判致シ候処、甚不納得也。故ニ其坐ヲ引取り一應モンソン江差越吉田、大原へ申聞ケ其上何分申遣ストノ旨ヲ以歸レリ。四時ノ車江乗付パーマ江凡十一時頃ナラン一宿イタシ候事。

(同二十八日)

八時ノ車江乗付モンソン江着則大原所江差越面會、其ノ我宿江歸候。家内都テ留守也。其ノ大原、吉田來レリ。我々此先生江面會、次第ニ可相成トノ嘯細ニ咄セリ。彼等ニモ「笑儀ハ無之然ルニハンモンド」モ折悪敷留主ニテ面會不得也。

(同二十九日)

七時半鉄車江乗付吉田、大原ニモ宿場迄見舞相成候処、拙仕舞方遅速ニ及ヒ咄合等イタシ候事。

(同三十日)

(十二月一日)

松村、村上、永澤、野村等被居候所江野田等同道ニテ諸道取集方トシテ差越、其晚一泊イタシ候。其家先生住居ノ処也。最山中ニテ川

同二十二日 晴

從十時半寺江行キ十二時歸。夜食後都テ同士列合芦原墓江參候事。

同二十三日 晴

從十時十二時迄、從二時前同半迄學校。夜食後遊歩。

同二十四日 晴

從十時十一時迄、從二時半三時半迄。

同二十五日 晴

從九時半十一時迄モース、其々十二時迄シイミツ所ニテ文章ノ書方初テナセリ。

同二十六日 晴

從十時十一時迄、從二時半前三時過迄學校。

同二十七日 晴

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。

同二十八日 晴

從十時十一時迄學校、從六時毎ノ通文典會有之九時引取。

同二十九日 晴

毎ノ通寺江行。夜食後芦原墓參ヲ成ス。

十月朔日 晴

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。夜食後先生 Morse 久松

同道ニテ遊歩ヲ成ス。其々我々部屋江來レリ暫時被歸也。

同二日 雨

I went to school from ten clock and returned at eleven clock.

same 2

I went to school from half pass nine and returned at twelve clock.

Mr. (欠字) come to our room and send to us of 菓子 and stay

about one time.

同四日 晴 六日ノ場ニ入ル也。

從九時半十一時迄學校。從六時毎ノ通文典會有之賦ニテ集來候ヘトモ吉田不快ニ有之取止九時頃噺也。

同五日 晴 七日ノ場ニ入ル

從十時半十二時過迄寺江行毎ノ通相濟候上書生ハ勿論男女二拾四五歳々下バリブル以テ銘々五六人ツツ先生請合有之尋問為致候事。

同六日 晴

從九時半十一時迄學校。

七日 晴 五日ノ場ヲシルベシ

同八日 晴

從十時十一時過迄、從二時半三時半迄學校。

同九日 晴

從十時十一時迄、從二時半三時半迄學校。

同九日 晴

毎ノ通。

從二時半三時半迄學校。夜食後久松同道ニテ大原江暫時見舞、其
吉田所江行キ半時咄歸レリ。今朝宿ノ George 祖父ノ所江到居候故
書状ヲ遣ス也。

同十日 晴

從十時十一時半過迄、從二時半三時半迄學校。夜食後工藤、大原、
吉田来ル、最宿亭主母サマ来リ被居面會イタシ度トノコト故九時頃
迄咄也。

同十一日 晴

從九時半過迄十一時過迄モース、其カスミツ所江到リ十二時前迄、
夜食後遊歩、久同道也。

同十二日 晴

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。夜食後遊歩カ Mori rugun
一時位立寄。

同十三日 晴

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。

同十四日 晴

從九時半過十一時迄學校。夜六時ヨリ吉田、工藤、久文典會ヲナス、
九時半歸レリ。

同十五日 晴

從十時半寺江行、十二時歸レリ。夜食後五人同道ニテ芦原墓參ニ行
ク也。

同十六日 晴

從十時十一時迄、從二時半三時半迄學校。四時過大原来ル、五時歸
レリ。夜食後遊歩。

於日本銅錢鑄形初マリタルト新聞紙ニミユ。最米国同様ノ形作ニテ
有之由也。先日新聞ニテ聞ク、日本人費幣ニ及ヒ賣易等充分ニ無之
ト書記有之。

同十七日 晴

從十時十一時半迄、從二時半三時過迄學校。

同十八日 晴

從十時半十一時半迄學校。昼後毎ノ通學校無之。

同十九日 晴

從十時半十二時迄、從三時前カ同半迄學校無之。竹内健藏、肥後十
郎カルホニヤカ野村、谷元江書状来レリ。江戸カ伊東四郎左エ門、
木場十藏渡海着岸相成候ト申来候事。

一、越前藩柳本某ト申人諸器械軍備等探索ノ為来リ被居候。然ルニ婦
国相成候段知ラセ相成候故愚兄江一封ヲ呈セリ。

同廿日 晴

從十時半十二時迄、從三時同半迄學校。

同二十一日 晴

從十時十一時迄學校。夜六時カ九時半迄吉田、工藤、久ニテ文典會
讀イタス也。

五時起、從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校、夜食後久同道遊歩。吉田七時々来り半時位嘸歸レリ。先日亭主実母被来滞在相成候ニ付見舞、一時位相嘸。一時前休也。從四時頃大原来り半時位咄也。

(二十七) 同二十六日 晴々

五時過起、從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校、夜食後久同道遊歩。一時半頃休也。

(二十八) 同二十七日 晴

五時半起、從九時半十時半過迄、十一時々十二時迄學校。

(二十九) 同二十八日 晴

五時起、從十時十一時迄、從二時半三時過迄學校。十二時休也。

(三十) 同二十九日 晴

五時半前起、從十時十一時過迄、從二時半三時半前迄學校。十二時休也。

(九月一日) 同晦日 晴

五時起、從九時半十一時迄學校。從三時五時迄吉田、工藤、久部屋

ニテ文典會ヲ吉田ヲ頼ミ成ス。十二時休。

(九月二日) 九月朔日 晴

從十時半寺江行十二時歸レリ。夜食後大原、工藤来ル、久松四人同

道ニテ芦原墓參ヲ成ス。

(三日) 同二日 雨

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。夜食後六時過大原来ル、其々久三人同道ニテ工藤宅江行ク、八時迄嘸歸レリ。

(四日) 同三日 晴

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。六時過ヨリ吉田来ル、八時前歸レリ。十一時休也。朝五時起。

(五日) 同四日 晴

朝六時前起、從九時半々十一時半迄學校。

(六日) 同五日

今日學校無之。Amherstト云所ノ大學校江宗旨ノ集有之、書生ハ勿論、所ノ者共大方差越ス。大抵二十里位ノ所也。

(七日) 同六日

從十時十一時半迄、從二時半三時半迄學校。シユミツ先生ノ所江夜六時半々可来トノ沙汰有之、都テ五人ナカラ差越八時過歸レリ。

(八日) 同七日 雨

從九時半過ヨリ十一時迄學校、昼後從二時吉田、工藤、久、我々ノ部ヤニテ文典ノ會ヲナス、五時迄。從六時過大原来ル、七時半歸レリ。

(九日) 同八日 晴

六時半過起、從十時半十二時迄行、夜食後大原、工藤、久同道ニテ芦原墓參ヲ成ス。

(十日) 同九日

同十四日(十五日) 晴

五時起ル、從十時十二時前迄學校、從二時過三時過迄同斷、夜食後遊歩、久松同道ニテ歸ニ髮附ベンスル一本書留ノ書物六冊取入候事。十一時半休也。

同十五日(十六日) 晴

五時起、從十時十一時迄、從二時過三時過迄學校、夜食後遊歩、七時半比月カケ八時頃少残り也。十一時半寢也。

同十六日(十七日) 晴

五時起、從十時十一時迄先生スミツ也。昼後毎ノ通學校無之、今日カスバニシノ附国メキシコノ書生一人同宿相成ル。終日學問十二時休也。

同十七日(十八日) 晴

朝六時前起、十時半ヨリ寺江行、夜食後芦原募參イタス也。一時前休也。夜八時頃分亭主所ニテ九時過迄噺也。

同十八日(十九日)

朝五時起、從十時十一時迄、從二時三時迄學校一學校先生ノ甥(欠字)ト云人同宿相成。夜食後ヨリ大原来ル、七時歸レリ。其久同道ニテミシスニユートン江噺ニ差越八時前歸レリ。夜二時迄讀書。

今日新聞紙ニ見ユ、於日本横濱幾利支丹宗ノ者有之六拾三人召捕相成入牢、於長崎米人一人英人二人殺シタルトノ旨傳信機ニテ相知レ候旨書記有之委事不相分也。

同十九日(二十日) 晴

五時起、從十時十二時前迄、從二時過三時迄學校。夜食後吉田来ル、久松三人同道ニテ遊歩ヲナス、十一時休ム也。

同廿日(二十一日) 朝小雨昼分晴天

朝五時起、從九時半十時半過迄モース、其カシミツ文章ノ綴方相習ヒ候コト。夜食後遊歩ヲ成ス、一時過寢ル也。

同廿一日(二十二日)

朝五時起、從十時十一時迄、從二時三時迄學校。吉田四時過暫時来ル、夜食後遊歩、十時過不快ニ有之休也。

同廿二日(二十三日)

朝五時過起、從十時十一時迄、從二時半三時半迄學校、宿亭主ノ母入来一緒ニ食事ヲ成ス。夜食後遊十一時休也。從四時半過五時前迄吉田来ル、從六時半頃七時迄大原来ル。

同廿三日(二十四日) 雨

朝五時起、從十時十一時迄學校。吉田不快ニ付文典會取止、夜食後遊歩、七時過工藤、吉田来ル、八時半歸レリ、一時休也。

同廿四日(二十五日) 晴

六時前起、從十時過寺江久同道ニテ行、十一時半歸レリ。夜食後芦原募參トシテ工藤、久同道ニテ行、歸ニ工藤来ル、八時前歸レリ。十二時前休也。

同廿五日(二十六日) 晴

從十時十一時亦々モースヨリ從三時四時迄。

同二十八日

同斷。

同二十九日

從十時十一時迄、晝後學校無之。

八月朔日

從十時十一時迄、從三時四時迄。

同二日

從十時十一時半迄學校。

同三日

從十時十一時迄學校先生シミツ。

同四日

從十時半例ノ通寺江行也。

同五日

朝學校先生出席無之、從二時半三時半迄。

同六日

從十時十一時迄、從二時半三時過迄學校。

同七日

從九時半過學校十一時前迄。

同八日 雨

從十時十一時半過迄學校。從二時二十分三時半迄學校。終日讀書夜

十二時迄。

同九日 雨

從十時十一時半過迄學校。從二時過三時過迄。朝五時半起ル、七時迄(バイブル)バリブル讀書、朝食後ヨリ十時迄地理讀書、從十一時二時過迄第三ノ讀書、終日讀書、夜食後十町位遊歩ヲナス十二時寢ル。

同九日(十日)

從十時十一時迄學校先生シミツ、從一時文典會讀ニテ吉田、工藤來リ、久松部ヤニテ四時半濟也。夜十二時半迄讀書。

同十日 雨半日(十一日)

朝六時過起朝食迄(バイブル)バリブル讀書、第三番ノ讀書、十時半ヨリ寺江行十二時迄。夜食後芦原墓參ヲナス、十一時半迄讀書。

同十一日(十二日)

朝五時半起食迄(バイブル)バリブル讀書、食後々地理書讀書十時迄。其々學校江出十一時帰宿。從二時三時過迄、夜一時過迄讀書。

同十二日 朝曇(十三日)

五時半起沐浴、從六時(バイブル)バリブル食迄讀書。從十時前十一時過迄學校、從二時三時迄學校、夜十二時迄讀書、從十時過十一時前迄午習。

同十三日 晴(十四日)

五時起第三ノ書讀書、從九時半學校出席。十時半過迄モース、從十一時シミツ文章書方、十二時半過迄、從一時半大原、吉田來ル、四時迄、夜食後吉田來ル。久松同道ニテ遊歩、十一時半迄讀書。

差越、都テノ人数大抵七百八人位有之内男女子共五百人計有之トノコト也。學校七ヶ所立居教方等見物、最家作等大ヒニシテ五階有之、

上ノ方ハ皆寢間ニテ至極行届キタル者ニテ坐敷男女ノワカチ有之全ク諸人ノ寢所等不相違最寒時分ニハ火ヲ以テアタタムル所有之、生子等有之秩母有之全ク兼未ノ処無之、學問不致時間ニハ遊所大ナル家造有之、其所ニテ銘々ノ遊ヒヲイタシ學校食事等ノトキハ其所(ハトマ)二人ツ列ヲ成シ其内取締人有之見得、誠ニ嚴重也。其(ハトマ)ハハマ江来リ昼食ヲナス、其(ハトマ)一時有之(37)ウイブレハント云所ノ學校江行ク、大ヒナル學校也。凡三百人内外有之申最書生住居ハ大抵一町半(ハトマ)大キナラン四階ノ家ニテ皆ソレニ住居何ニモ不自由無之、一番上ノ階ニハ遊所有之、男女ノ部屋ハ違有之ト相見得最宿料等易ク由也。六時前歸レリ。

同十六日

學校江出。

同十七日

同断。

同十八日

同断。

同十九日

寺江行ク。

同二十日

先生帰宿ニ付學校無之、乍然宿亭主婦(ハトマ)書物習方イタシ候コト。

同二十一日

八時過ヨリ大原、久松同道ニテ馬車(ハトマ)ハハマ江拙齒痛ニ候ニ付療治方トシテ差越向齒一ツ造リ入ル也。昼飯右町ニテ喰ヒ五時前歸レリ。

同二十二日

學校今日ヨリ相初候得共未教方等不定故引取也。

同二十三日

學校江從四時五時迄出シユミット云女ヨリ習ヒ此已前ヨリノ先生也。

同二十四日

今日齒痛甚シキ故亦々療治方トシテ七時半(ハトマ)鉄車ニテ差越相濟宿場迄差越居候処、凡十二時前ナラン日本人来ル。誰ナラント案シ居候処ニ彼レ(38)我ニ向ヒ誰ナラント相尋候故、我ノ名ヲ以答フ。彼レニハ(38)鯨鳴也ト云。誠ニ喜悅無極色々(39)嘶共承リ、外人數モ一緒ニ来着最十四日「ポストン」江安着ノ由也。彼等ニハ「アメニヤ」ト云所江善キ先生ヲ昨年渡海ノ節知人相成右ノ処へ来リ候トノ嘶也。

同二十五日

從十時十一時學校江出席、從五時鯨鳴氏出立ニ付食後ヨリ到リ色々嘶共有之相歸レリ。

同二十六日

寺江行也。

同二十七日

同二十八日

先生不快ニテ學校無之、昼過大原、吉田、谷元歸レリ。

同二十九日

學校江毎ノ通出。

七月朔日

昨日之通。

同二日

昨日之通。

同三日

昨日之通。

同四日

昨日之通。

同五日

學校無之寺江行ケリ。

同六日

谷元、野村出立ニ付十一時過彼之宿江到ル。最工藤、大原、吉田同列ニテ行ケリ。昼後學校江出、夜食後先生同道ニテ馬車ハ四里位有之所之高山江登リ目鐘持來諸所ヲ見物スルト雖、日入暗故ニ思通見物不可タリ、八時半歸レリ。

同七日

學校江出席、昼後先生來ル。吉田ハ之書状ヲ持參被具候。右書状一

件ニ付、先生スヒリンヒル江差越具候トノコト也。我々共再三断候

得共□□差候との事候。

同八日

學校先生留守ニ而休ミ也。

同九日

從九時十一時迄學校江出席、夜食後ハ吉田、大原来九時半歸レリ。

同十日

從九時十一時迄昨日同断、夜食後久松同道遊歩。

同十一日

今日學校無先生、大原、久松同道ニテ馬車ヨリスタ36（スタッフフォード）ホルト云所江八時半頃ハ打立差越宿屋江着ク。最モスプリント云水ノ名高キ所ニテ地ハワキ出ル所也。終日滞在最昼過ハ雨降出シ凡七時過打立九時半歸レリ。

同十二日

寺江行ク五時過ハ小キ寺有之。

同十三日

學校江出ル。

同十四日

同断。

同十五日

學校無之故ニ先生、大原同道ニテ馬車ハ貧院三里位有之所江見物江

皆々引取り、我輩其所江一宿ス。

同二十二日 晴

従未明段々見舞人有之、十時頃見分有之。吉田、大原同道ニテ寺江行ク。芦原前以ノ次第巨細ニ相尋ニ相成候由。答ニ芦原儀日本出帆前母ヲ失ヒ心痛モ不成一方折柄渡海相成候処、船中ニテモ全ク言語不相通故始終心痛堪兼候次第ノコト有之トノ咄也。其上当所ニテモ始終不面白容貌ニテ時トシテハ鬱胸有之模様一兩度見請ケ其節ハ我々共ニモ氣ヲ付ケ居候。近頃ハ全ク其ノ氣差不相見得、然ル不意ニ心ヲ乱シ候筋ニ相見得、前日朝九時頃ヨリ出四時迄当所篇歴有之筋ニ相見得候ニ付全ク乱心ノ形チニテ最分ケモ有之ヲハ書置ニテモ有ル之ナラン、然ルニ右等ノコトモ無之故全ク乱心ナラント相答ニ相成候事。「大先生」^(ハモンド)「ブラオン」^(ブラウン)ニモ十二時過來ル面會。

同二十三日 晴

従未明見舞人有之、一時頃館ニ納ム。寝ナカラ入ル箱也。甚美麗也。銀メッキニテカザリ等有之、木色ヌリニテトモ日本ナトニテハ未不見也。最本宿亭并当日宿々白花ニテ○十右ノ形チヲ作り其レヲ館ヲ納其外大形女衆花ヲ手向ケセリ。其ヨリ馬車々寺江行キ跡大先生、ブラオン続テ我々二列ニ行候処、男女群集毎モ説法有之処ニテブラオン天ヲ祈且一統ノ人数江深切ニイタシ呉レ銘々落涙ニ及ヒ候。礼ヲ延候。凡二百内外ナラン、相濟候テ一人ノ芦原ヲ面拜其々馬車々大先生、ブラオン、久松、我一緒ニ同車ニノレリ、工、大、

吉、モース一緒也。外十五六馬車来跡々墓迄一列ニ行儀正シク墓所ニテ馬ヲ下リ二列ニ並右場所迄到ル。其所ニテ又ブラオン祭ヲナス。其々我々歸レリ。五時ヨリ大先生旅ヲナス、宿場迄見送りニ行ケリ。七時々ブラオン所江咄ニ行キ十時過カヘレリ。

同二十四日 晴

七時半^(ブラウン)ブラオン帰ニ付宿場迄見送りニ行ケリ。昼後々本芦原宿江一統到リ諸道具ヲ集一緒ニ荷作国本江遣ス筋ニ格護イタシ候コト。六時頃々皆来リ十時カヘレリ。

同二十五日 曇

九時前々工藤、吉田、大原来リ十時頃歸レリ。

同二十六日

朝八時半頃ヨリ吉田来リ居候処、子共咄ニ日本人兩人今来レリト咄セリ。故ニ吉田到リ候処、谷元^{35(道之)}、野村兩人到リ大原ニモ同道我々ノ家ニ来リ、出帆ノ次第相尋候処、「ブラオン」^(ブラウン)セハニテ此節同道ニテサン^(ブラウン)フラスシイスコ迄其々頭^(ブラウン)ブラオン請合通無之甚不頓着ニテ「ブラオン」^(ブラウン)出帆ニ付爰迄来リシトノ咄也。故ニ何レブラオン江引合其上ホーキリ方江金子ノ都合可致旨吟味相付、従十一時吉田、大原、谷元ブラオン所迄到レリ、其々新約克^(ニユーヨーク)江行ク賦也。

同二十七日

従八時過工藤来リ十時半々四人同道ニテ寺江行ケリ。夜食後芦原江行ケリ。

從九時十一時迄學校。從六時芦、工藤來り文典ヲ會ス、十時過歸レリ。ホーク江我々々書狀ヲ仕出ス、認方大原江頼也。趣意ハ我々陸軍所江行カントノコト也。

同十九日 雨

從十時久、吉、工藤、先生四人從馬車貧人家見ニ行ケリ、三時頃歸レリ。六時頃々芦原所江行八時頃歸ル。

同二十日 雨

從十時半寺江行ク。從五時頃吉田來、又工藤來ル。六時半過歸レリ。

同二十一日 曇

久松同道ニテ從八時半過芦原部屋江到ル。彼レ不居故ニ雪隠ニテモアラント相考、最毎日読ム書モ備ヘ有之候ニ付待居候得共不来。然ルニ九時ニ相成候ニ付學校江出候處、工藤出居先生言ニ芦原不知歟ト問フ。我日不知ト答フ、彼云芦原昨日五時過出候テ不歸ト内ノカカサマ云、決テ貴宅ニテ候半トノコト也。我々甚不思議ニ相考、我ニハ大原所江行、久松ニハ吉田所ヘ相尋候ヘトモ彼等ニモ不相知コトニテ最早探索ノ外無之、先生、大原ニハ馬車(ハイヤー)ハハマ江差越宿場ヲ相尋方トシ行キ、久松、吉田、我、工藤兩方ニ別レ山ヲ尋方トシテ差越候ヘトモ不尋出、十二時歸レリ。然ルニ先生杯ニモ歸來リ、彼ノ地ニモ不相知段々致探索候處、足跡相知レ候ニ付先生、吉田馬車ヨリ尋方イタス候處、能ク相分リ大抵四里位ノ道ナラン、野路ヲ廻リ亦モンソノ内江入來ル。其レ迄ニテ頓ト行エ不相知、其内我、

久松、工藤、大原ニハ山ヲ尋方イタシ、凡五時頃歸候處、右ノ咄ヲ聞イツレ右近方ノ山ヲ尋々外無之打立候處、村中(欠字)杯ヲ初一統深切ニ心ヲ尽シ呉レ何レ村中ノ人数ヲ集メ尋方可致トノコトニテ兩所ノ寺ノ鐘ヲ打ツ候處、直ニ人数集リ來ル。凡六時頃ナラン、ソレヨリ一緒ニ打立行ク、然ルニ山ノ口ニテ玉投ケノ遊ビヲ多人數集居成ス処江先生到リ芦原ノ次第故尋呉候様相頼候處、其儘直ニ打出野山ヲ相尋、然ル処八時頃ナラン我々ノ前ノ山ヨリタタナラン声ニテ呼候故、走付候處最早人数モ集來ル居、最芦原ニハ木ニ首ヲ結下リ居候ニ付走り付ケナカラ抱付下ロスベクトイタシ候。彼人々申ニハ直様下ロスコト不相成見分濟ノ上ニテ可下旨相聞候。言語ハ不相通其意ニマカセ相待候。追々人数モ集リ來リ見分モ相濟、其々落シ方イタシ最馬車寺江迄持歸久、我フランケツトニテ包ミ寺江格護イタシ、大原、我、芦原宿江到リ朝ニモ諸道具ヲ改方イタシ決テ書置ニテモ有之ラン歟ト致吟味候ヘトモ不見出。然ルニ皆々吟味イタシ呉レ候處、寺ニテ何歟不都合ナラン、宿屋江可行ト致承知パークト云人ノ宿江行ケリ。最今迄芦原宿江是非列レ來候様宿ノ母カサマ娘共々承候ヘトモ所中ノ吟味通隨從イタシ、最大先生ニハ諸所見物トシテ差越被居候ニ付テリカラプヲ打ミストルキングマン迎ヒニ行ケリ。^{③④}横濱(フランク)ブラオン歸來居候段、今朝傳言相知レ是以テリカラプヲ打ミストルパークト云人迎ヒニ行ケリ。ミストル「ホアイト」同「パーク」ト兩人ニテ湯ヲ以洗ヒ方イタシ呉レリ。醫師等モ來リ一時頃

日本々宿許状岩下氏江頼候由ニテ然ル處香開江荷物取残有之、其レ
江入付相成候筋ニテ英国々来ル。最岩下氏杯毛英国江到来ノ由也。
今月十九日方帰国ノ由也。

同六日

從十時半寺江行ク也。

同七日

從九時十一時迄學校、從二時四時迄同。

同八日

昨日同断。

同九日 曇

昨日同断。

同十日 晴

今日先生アモースト云所ノ學校終ニテ見物トシテ被差越學校無之先
生江昼後ノ我々習方久、芦、大原ヲ頼ミ断候事。

同十一日 晴

朝々終日齒痛ミニテ寢ル。昼後芦原其外来、醫師ヲ頼ミ油薬ヲ付ル、
ソレヨリ痛ミ平和ニ相成、終日痛ミ甚難儀也。

同十二日 晴

學校無之、從八時拙宅ニ於テ文典會読有之、十二時濟、夜食後大原
宅江久同道ニテ行ク。跡々吉田来ル歸リニ文典ヲ取入候事。

同十三日 晴

從十時半寺江行ク、十二時歸レリ。從五時過工藤、吉田来ル、然ル
ニ醫師スミツ同道ニテミストル「キント」云人為面會来レリ。半時
位嘶歸レリ。跡々大原来ル。

同十四日 晴

從八時前大原宅江行ホーキリ江書状ヲ遣方頼ミ歸リニ大先生今日々
諸所見物ニ被行ク筈ニ付見舞直ニ歸レリ。其々學校江出十一時歸レ
リ。從二時文典會拙宅ニテ有之五時半ニ相濟、從六時我輩都テ先生
同道ニテ遊歩。石取場其々ロクハウスト云嚴ノ穴有之所ヲ見物八時
過歸レリ。

同十五日 晴

從九時十一時過迄學校。六時過々工藤来致同道遊歩、満月ニテ影色
甚宜。

同十六日

從九時十一時迄學校。昼後拙宅ニテ文典會有之今日迄相濟也。夜食
後遊歩。

同十七日 晴

從九時十一時迄學校。二時頃々大原、吉田来ル。從三時前工藤来、
然ルニ龍府吉田、畠山氏、岩下氏、市来氏ヨリノ書状相達ス。今月
十九日出帆帰國ノ筋ニ相見得。從六時過工藤宅ニテ文典會ヲ初ル、
最我々共バカリニテ頭ヨリ再読ノ事也。

同十八日 雨

大、芦、工藤先生宅江行、先生江宛名書方頼入候コト。

同二十一日 晴

從十時半寺江行ク十二時歸レリ。

同二十二日

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。

同二十三日

每ノ通。

同二十四日

每ノ通昼後休也。

同二十五日

每ノ通。

同二十六日

每ノ通。

同二十七日

每ノ通昼後學校無之。ウルヤム所江行キ宛名ヲ書キ貫候事。子共學校今日ハ休ミ、然ルニ昼後ハ集學校ニテ暗誦ヲ成ス。見物ニ我々共行、余多見物人也。跡ニテクダ物菓子類備ヘ相食スルトミヘタリ。

同二十八日

寺江行ク也。

同二十九日

從今日學校休ニテ昼後女書生暗書有之。

六月朔日

從九時學校江男女集凡百三四拾人位有之ン、從九時半頃二列ニ並最モ行軍ノ姿ニテ兵備ノ樂ニテ役者来リ學校江繰出シ足並ヲ揃工行儀正シク男ハ先ニ行キ、女跡ニ続キ来ル。寺マエ江止マル。左右江分ルル女中ヲ通り行ク、其時皆帽子ヲトリ禮ヲ成ス。通過候而ヨリ一統内ニ入、女右江坐男ハ左江坐ス。先生正面ニ在、左右江老人坐ス、樂初リ後書生三、四人間ヲオキ暗書ヲ成ス。一時前濟。

同二日

亭主母様從弟来リ居候。娘寄宿ニ付宿場迄見送リトシテ從十一時前差越分ルル也。

同三日

從夜後大原来、工藤、芦原ニモ来遊歩ヲナス。

同四日

從八時前大原所江久松同道ニテ差越跡ヨリ芦原来ル。大原ヲ頼ミ先生所江行キ新約克^(ニユーヨーク)行キヲ咄ス。先生ニモ能キ請合也。從九時學校江出席マストルモースハ習方致ス十一時歸ル也。其ハ我亭主次ノ家江轉宿ニ付我々ノ荷物ハ勿論カセドモイタス。六時過ハ大原、工藤、吉田、芦原来ル。九時歸レリ。

同五日 雨

昼後吉田同道ニテ先生内江行キ新約克^(ニユーヨーク)江行ク次第ヲ咄置候事。從三時文典會ニテ一統集五時半過相濟候事。

從九時十一時迄、從二時四時迄學校出席。夜食後遊歩。

同五日

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。夜食後遊歩。

同六日

從九時十一時迄學校。昼後學校無之。夜食後先生所江尋到ル。歸ニ

大原所江立寄六時過々吉田、芦原、工藤来ル。

同七日

從十時半寺江行十二時歸ル。

同八日

從九時十一時迄、從二時四時迄。

同九日

昨日同斷。

同十日

從九時十一時迄、昼後學校毎ノ通無之。

同十一日

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。

同十二日 晴

從九時十一時迄、從一時三時迄學校。從六時頃大原来ル嘶ス。フラスノ新聞紙ニ岩下氏採商易一件ニ付色々混雜有之筋ニ見ユ。然ルニ一橋弟徳川民部(昭武)太輔殿ヨリ達シ相成候筋ニ見ユ。己後外国江通商ノ節者日ノ丸ノ印一方ニ幕ノ紋一方ニ其国ノ紋ノ印ヲ立通商イタ

ス筋ニ治定有之タルト佛々ノ新聞紙ニ見ユ。

同十三日

今日先生差支ニテ學校無之。

同十四日

從十時半寺江行ク十二時歸レリ。五時頃々吉田来ル六時半頃歸レリ。

佛岩下氏江遣ス書状ヲ認ムル。

同十五日

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。夜食後遊歩、歸ニ書店江行地理書取入、芦原氏ノモ請取来ル。八時頃々吉田来ル九時過歸レリ。

同十六日

從九時十一時。

同十七日

毎之通。

同十八日

從九時十一時迄毎之通。

同十九日

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。夜食後久同道ニテ芦原所江遊歩読方トシテ到ル、吉田来ル居一緒ニ遊歩ス。吉田歸ニ来ル九時過歸レリ。

同二十日

從九時十一時迄學校。昼後毎ノ通休ミ夜食後芦原来ル。同道ニテ久、

同二十日

從九時十一時迄、從二時四時迄、夜食後遊歩。

同二十一日

從九時十一時迄、從二時四時迄同斷。

同二十二日 曇

從九時十一時迄、從一時半三時迄、食後同斷。

同二十三日

從九時十一時迄、從二時四時迄。

同二十四日 晴

今日松崎チーセツノ内、方限男女師匠当所江集方有之。是ハ一年ニ

度々定法ノ由、最政事向ノ事モ有之候ヘトモ第一教導方ノ吟味等致

シ候由、大抵百五十人位集候由、女ノ方多ク有之ト見ユ。

同二十五日 晴

昨日同断ニテ學校無之、從十一時先生初我輩都テ同道鉄車(スプリングフィールド)スヒル

ヒン江衣服調方トシテ行ク。茶屋ニテ昼飯ヲ取ル。六時ニ歸ル。宿

亭主江花一鉢ヲ土産トシテ持来ス。

同二十六日 晴

從十一時寺江行ク。

同二十七日

從九時十一時迄、從二時四時迄。

同二十八日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。夜食後遊歩。

同二十九日 晴

從九時十一時迄學校。一時ハ大原、芦原、工藤會文典講義五時前済。

同三十日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。夜食後遊歩。

同三十一日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。夜食後ヨリ遊歩。歸ニ沓作方頼トシテ差越也。

六月朔日 晴 五月

今日祭日ニテ學校無之、從九時大原所へ久松、芦原同道ニテ行キ十一時前歸ル。夜食後遊歩岡江上カリ也。

日本五月朔日

(六月二日記載なし)

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。今朝日本ヨリ書状来ル。我一人不来也。夜食後遊歩。歸ニ工藤所江行ク、宿亭ハ花共貫ヒ歸ル。

五月二日

昨日同断學校。夜食後遊。

五月三日

從九時十一時前迄學校。昼後休ミニテ無之。從一時半工藤、芦原、

大原来ル。毎之通文典會読五時済。夜八時過ハ大原所江行明日読方

之部解ケ兼尋問成ス。十時歸ル。

五月四日

同三日

毎之通。

同四日 晴

從九時十一時迄スミツ々昼後學構無之大原、吉田来ル。皆四人同道
ニテ石取場一里位有之処江見物ニ行ケリ。

同五日 晴

We go church from half pass eleven o'clock to twelve. We take
walk after supper.

同六日 雨

We go to school from nine o'clock and return fo eleven. Yoshida
came at afternoon to the my room. Ashiwara, Kudo and Yoshida
came to my room and take walk with me.

同七日

We go to school at nine o'clock and return fo eleven and to four
o'clock from tow.

同八日

We go to school to eleven from o'clock tow afternoon whithout
school.

同九日

從九時十一時迄、從二時四時迄學構。

同十日

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。

同十一日 晴

從九時十一時迄學校昼後無之。

同十二日

從十時半寺江行十二時帰ル。從一時半文典會読初ル四時ニテ済。

同十三日

從九時十一時迄、從二時四時學校。

同十四日 雨

從九時十一時迄、從二時四時迄學校。

同十五日 晴

從九時十一時前迄、昼後學校休ニテ無之。

同十六日

從九時十一時迄、從二時四時迄、夜食後遊歩。

同十七日

從九時十一時迄、從一時三時迄、例ノ通遊歩。

同十八日 晴

先生スミツ宿本江帰り休也。昼後大原、吉田来リ野江遊歩トシテ同
道。然ルニ吉田玉持来居、ナケ方始リ五時前帰レリ。拙齒痛ニテ昨
晚モ今夜モ両夜江ハアンマトリ貫ヒ甚難儀也。

同十九日 半晴

從十時半寺江久、同道ニテ行ク。

同十五日 曇

從九時十一時迄、從二時四時迄學校、夜食後七時前ハミストルト
プ所江所中集會有之是非可行旨母サマハ誘ハレ無扨差越候処、男女
余多也。然トモ我々何モ言語不相通故二階部屋江引入也。十時少前
歸レリ。

同十六日 雨

從九時十一時迄、從二時四時迄學校毎之通夜食遊歩。

同十七日 晴

從九時十一時迄モハスハ昼後毎之通休、夜食後遊歩。

同十八日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄、夜食後毎之通。

同十九日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄、(リンカーン)「リンコロン」歴史初テ「シミス」
ハ習ヒ方イタス。毎ノ通遊歩。

同廿日 晴

從九時十一時迄シミツハ夜食遊歩。

同廿一日 晴

寺江從十一時行十二時歸、昼食後拙部屋ニテ毎ノ通文典會読ヲナス。
夜食モ同斷。

同廿二日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄。

同廿三日 曇

從九時十一時迄、從二時四時迄、幕役(小野広勝カ)大野其外新約克江(ニニューヨーク)着ノ由也。

同廿四日

從九時十一時迄モハスハ昼後大ニ雪降、乍然積不能也。時節ノシカ
ラシムル所ナラン。

同廿五日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄、今日幕役ワシントン府江差越申也。

同廿六日 晴

同

同二十七日

同

同二十八日

日曜日ニテ學校無之。

同二十九日

每之通。

同三十日

每之通。

五月一日

每之通。

同二日

每之通。

歸ル。

同二日 晴

從二時四時迄スミツ、昨日ミストルトーブを經書我々江被送候ニ付
朝食後読方イタス。最客間ニテ先日亭主カカサマ從弟ト云ヒテ十八
九才ノ娘學問ニ來ル。皆一緒ニ佛書讀也。

同三日 晴

從九時十一時迄ミストルモースを從二時三時半過迄スミツを夜食後
遊歩皆六人共同道也。

同四日 晴

今日祭日ニテ學構無之昼食後写真ヲ取六人共一緒也。宿ノカカサマ
江アグル大ヒニ悦也。大原所ニテ文典會讀ヲナス。夜食後大、吉、
久同道ニテ遊歩ヲナス。

同五日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄、夜食後遊歩ヲ成ス。

同六日 朝曇昼晴

從九時十一時迄スミツを夜食後芦、工、久同道遊歩ナス。歸ニ一緒
ニ宿ニ來レリ。跡大、吉來ル。

同七日 晴

學校無之十時半を寺江工、久同道ニテ行ク。昼食後大原所ニテ文
典ヲ會ス。夜食後我々ノ家ニテ同斷。

同八日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄、夜食後遊歩六人共同道ス。

同九日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄未同斷也。

同十日 曇

從九時十一時迄モースを昼後學校休也。昼食後大原、工、久同道
ニテ馬車(ハハマー)をハハマ江行ク。冠物ヲ取入歸ニトーフ所江立寄六時前カ
ヘル。

同十一日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄、夜食後遊歩。

同十二日 晴

從九時十一時迄、從二時四時迄、(ママ)食夜後遊歩。

同十三日 晴

從九時十一時迄スミツを昼後休ミニテ無之日本人(スプリングフィールド)スヒルンヒル江來
ルトノ新聞ニ見エタリ。

同十四日 晴

日曜日ニテ學校無之從十時半寺江行十二時歸レリ。一時半前大原來
ル。唯今日本人一人來リ致面會度候間一統江通シ候杯ノコトヲ聞ク。
則チ宿江行致面會候処、右人江戸八町屈(堀)ノ万之助ト云人ニテ英人日
本人藝者二十人頼入ツレ來リ右通弁師トミヘタリ。色々相咄候得共
至極賤シキ者ト見得タリ。何コトモ不相分二時過歸レリ。夜食後每
モ同斷。

從九時十時迄、從二時五時前迄大原所ニテ例ノ通、今日新約克江用
事有之ホークキリ所迄先生、久松、吉田、工藤從十一時鉄車乗付行
ケリ。夜食大原、芦原来リ同道遊歩ヲ成ス。歸ニ芦原所江立寄八時
歸ル。

同二十日 晴

從九時十時迄、從二時大原毎ノ通、歸ニ三人共私家江来ル、五時過
カヘレリ。夜食後芦原、大原同道ニテ遊歩ヲ成ス、八時歸レリ。薪
無之寒ユヘ二十一時迄寝ル。

同二十一日 曇

從九時半過ニ歸ル、大原同道来ル十二時迄咄。從一時ミストルト
プ(ママ)昼夜招請ニ預最馬迎ヒニ来ル候ニ付差越三時ニ歸ル。直ニ芦原
所江到ル、四時前迄大原来ル五時前迄咄歸ル。夜食後大原来十一時
前迄咄ス。

同二十二日 曇

從八時少過大原来九時前歸レリ。吉田書状来ル何歟安心ナラン模様
也。從一時半ミシスヌクント云女ハ習方イタス。

同二十三日

從一時半ヌクン宅江差越習方イタス、三時ニ歸居候処久松、吉田、
工藤歸来リ五時半過迄ニ歸レリ。

同二十四日

日曜日ニテ休ム。

同二十五日

從一時半學校江出三時前歸レリ。夜食後大原所ニテ會ス。

同二十六日 晴

從一時半同断。

同二十七日 晴

今日ハ學校初マル。我々ノ読方尅限間違ニテ休ム。五時頃先生宅江
(久松(大原)芦原)久、大、芦同道ニテ差越。

同二十八日 晴

從一時半學校江出三時歸レリ。六時迄大原所ニテ會讀十時過歸ル。

同二十九日 晴

從八時大原所ニテ文典會讀十時歸レリ。從一時半學校江三時歸レリ。
六時比ハ大、吉、芦、工来ル。

同三十日 晴

從十時半學校江出ミシスニユクン今日迄、次ノ初ヨリミシススミツ
教ル筈也。昼後大原所ニテ毎ノ通會ス。

同三十一日 晴

從十時半工藤、久三人同道ニテ寺江行、十二時歸レリ。五時過ハ大
原所ニテ毎ノ通會ス十時半前歸レリ。

四月朔日 雨

從二時四時迄ミスシミツ教道久、芦、工、吾四人也。夜食後ヨリ
吉田所江行ク。跡ハ工、大来ル、兩人ハ先ニ歸レリ、我々ニハ八時

ンソン中寺江集會有之最ス(スプリングフィールド)ヒルンヒルヨリ藝者等来リ候ニ付我々ニモ可行旨先生ノ使ニ来ルトノコト也。我行コトヲ不好也。乍然先生態ト迎ヒニ来リシ故不得已行ケリ。十一時過帰宿。大抵芝居ノ様ナ者也。其中學校書生暗書イタシ我何ニモ不分故甚困窮セリ。

同七日 晴

從九時十時迄、從十一時迄、從二時過三時迄、六時過ヨリ大原来ル九時比帰レリ。

同八日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時過三時迄、四時過先生来ル暫時被嘶帰レリ。五時半過ヨリ大原来ル共遊歩ヲ成ス。今朝々吉田来ル。久松江英国吉田(清成)書状并宿本ノ書状来レリ。岩下氏(方平)市来六、野村宗七(盛秀)、蓑田新平(長傳)、渋谷彦助(清一郎)、岩下清二月初フランス江着ノ由也。細事ハ不分。

同九日 曇

從九時十時迄從十一時過十二時前迄、一時半ヨリ先生製菓所江見物ニ差越色々珍敷者有之、帰ニ皆一緒ニ遊歩ヲ成ス。

同十日 雨

日曜日ニテ學校無之昼過吉田来ル。

同十一日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時過三時迄、六時過ヨリ大原来ル。

十二日

從九時十時迄、從一時半二時半迄、今日限ニテ學校休就テ吾々読方聞ニ女衆八九人来居甚赤面セリ。

十三日

從九時十時迄モースヲ読方習フ。二時々大原所ニテ久、芦、文典會讀イタス。

同十四日

從九時十時迄、二時々大原所江會ス。

同十五日 晴

從九時十時迄、二時々大原所江會ス。帰ニ久、大同道イタシ先生所江行ク。暫時咄帰レリ。工藤々書状来ル。

同十六日 雪

從九時十時迄、從二時大原所江行キ文典會讀央ニ工藤着来、取止五時前迄相嘶カヘル。夜八時比々又行キ十時二帰レリ。

同十七日 雪

雪終日降甚高積メリ、十二時半々寺江行キ四時々大原所江八時カヘル。

同十八日 晴

從九時十時迄、從二時五時前迄大原所ニテ文典會讀、從六時過大原、吉田、湯地来ル十時帰レリ。

同十九日 晴

人遊歩ヲ成。

同二十日 雪

從九時十時、從十一時十二時迄、夜食後大原来ル七時帰レリ。

同二十一日 雪

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄、六時頃大原来ル、遊歩イタス賦ニテ家外ニ出候処雪降其故直ニ帰宿セリ。

同二十二日 晴

ワシントン誕生日ニ付祭禮ニテ學校無之休ミ也。夜食後大原来リ三人同道遊歩ヲ成ス。

同二十三日 晴

從九時十時迄、從十時十一時迄、昼後毎之通學校無之夜食後遊歩成ス。大原六時頃ヨリ来ル九時帰レリ。

同二十四日 曇

從九時過大原所江行ケリ。十時帰ル。十時半時々亭主母サマ子共三人同道ニテ寺江行ク、十一時半帰ル。六時前々大原七時帰レリ。

同二十五日 曇

從九時十時、從十一時十二時迄、從二時三時迄、昨日ヨリ「モース」ヨリ「セコンド」書物ヲ読初。

同二十六日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄、六時頃々大原所江到リ同道遊歩ヲ成ス。帰ニハモンド所江到ル八時帰ル。

同二十七日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、昼後學校休ニテ無之ニ時過ヨリ吉田来ル、三時半頃帰レリ。六時比々大原来ル十時前カヘレリ。

同二十八日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時半前々三時迄、六時比大原来ル同道遊歩ス。

三月朔日 雨

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時過三時迄、四時過吉田六時過大原九時前帰レリ。

三月二日 曇

從九時十時迄、從十一時十二時迄、一封ヲ工藤江遣ス。

同三日 雪

日曜ニテ學校無之夜食後岳ノ上江遊歩ヲ成ス。

同四日 雪

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時過三時迄、雪深ク遊歩モ不出来。

同五日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時過三時迄。

同六日 晴

從九時十時迄、從十一時過十二時迄、從四時頃芦原、吉田来ル。共ニ遊歩ヲ成ス。夜六時過學校ニ先生「キングマン」ト云人来リ、モ

同七日

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄。

同八日 雨

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄。

同九日 雨

從九時十時迄、從十時十一時迄、昼後學校休ニテ無之ミストルトー
 プ彼ノ書生四足運動イタス候ニ付可来旨馬車ヲ被遣候ニ付亭主母サ
 マ同車ヨリ我差越六時半々十時ニ歸ル。

同十日 風

今日日曜日ニテ學校無之終日讀書。

同十一日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄、四時比々大原来。

同十二日

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄。

同十三日

從九時十時迄、從十一時十二時迄、昼後休ニテ學校無之候。

同十四日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄。

同十五日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄、六時比々大原来
 ル。吉田ニモ来ル八時過歸レリ。

同十六日 雨

七時半ヨリ蒸氣車ニテ「ハバナ」^{③〇}迄差越候処折悪シク車不来九時迄
 待九時過ニ来リ、スヒルヒン江^(スプリングファイールド)ハ大抵九時半過ナラン。從其直ニ小
 銃製作所江差越彼ノ支配役人江面會彼々印ヲ請案内一人有之、機械
 所見物、先年々戦争ニ用ヒシ鉄炮余多有之、間ニハ敵ノ玉当リシ鉄
 炮数挺有之、フランス英吉利々分捕ノ加農モ有之、當時用ヒ要ノ元
 込甚感心セリ。當時職人千人有之トノコト也。戦争ノ時分ハ三千人
 位有之由也。ライフル貳拾万挺コレハ外ニ家有之ソレカラ箱入付ニ
 凡五万挺位モ有之ランカ、コレハ不尋候ヘトモ一箱ニ貳拾挺ツツ入
 付有之トノ咄也。凡拾二時半歸ル。宿ヤ帰り食事ヲ取ル、其々町中
 々立シ學校ノ(不明)所有之ソコニ行ケリ。諸人江書物拜借ヲイタ
 サスルトミヘタリ、多人数ノ拜借人也。諸国々珍敷品皆集メ有之鳥
 獸其外石何ニ品ニ不寄ト見エタリ。日本ノ品毛鏡、江戸^團、笠杯
 有之、五時過蒸キ車来リ六時歸ル。

同十七日

日曜日昼飯後芦原不快ニ付彼ノ届江行ク、暫ク咄ス夜入過又行ク也。

同十八日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄、夜食後宿ノ子共
 列レ遊歩ヲ成ス。

同十九日 晴

從九時十時、從十一時十二時迄、從二時三時迄、夜食後大原来ル三

ル。

同十八日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從一時大原来ル。我々腫物イタシ大原同道テ醫師ノ所江行藥ヲ貰、四時頃来ル。昼後學校休ニテ無之事。

同十九日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄、工藤江書状ヲ仕出ス。夜六時頃ヨリ当所ノ人来ル。一人吾々ノ字ノ師匠也。七時迄咄歸ル。

同廿日 晴

從九時十時迄、從十二時迄、從二時三時迄、四時過吉田来ル。

同廿一日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄毎ノ通昼後學校無之三時頃ヨリ芦原、大原、吉田来ル。

同廿二日 晴

從十二時半亭主母さま同道にて寺江行、十一時半過歸る。大原、吉田来ル。

同廿三日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄モースヨリ先生差支ニ而出席無之。從二時三時迄、大原、吉田、芦原来ル。

同廿四日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄先生出席無之、從二時三時迄大原来ル。

同廿五日

從九時十時迄、從十一時十二時迄昼後休ニテ學校無之。

同廿六日

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄。

同廿七日

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄。

同廿八日

從九時出席イタシ候ヘトモモース出席無之九時半過カスミツノ所ニテ習十時半過歸ル。

同廿九日

今日日曜日外出イタサス久松ニハ寺江行ク。六時カ大原来ル八時歸ル。

同晦日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄、四時頃芦原、大原、吉田来ル。直ニ歸ル。

西洋二月五日 小雨 日本正月元日

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄大原、吉田来ル。

同六日 曇

從九時十時迄、從十一時十二時迄スミットヨリ、昼後學校休ミ。

從九時十時迄從十一時十二時迄、從二時三時迄、從三時大原来ル五時過歸レリ。

同六日 晴

從九時十時迄モールス、從十一時十二時迄先生、二時三時迄スミット、工藤江書狀遣ス。

同七日 晴

從九時十時迄モールス、從十時十一時迄スミット、昼後休ミニテ學校無之。

同八日 晴

十二時過ヨリ從一時吾ニハ宿亭主同道ニテ寺江行二時半歸ル。凡二百人余男女集也。

同九日 晴

從九時十時迄モールスト云、從十一時十二時迄先生、從二時三時迄スミットヨリ。

同十日 晴

從九時十時迄モールス、從十一時十二時迄先生、二時三時迄スミットヨリ。

同十一日 晴

從九時十時迄モールス十一時十二時迄從スミットヨリ、昼後學校休ニテ無之昨夜ブラオン歸ル、明日彼叔父ノ所江歸リ其々(欠字)ト云行筈也。就テハ一統ブラオン同道先生宅江出張是迄學校次第金子杯

ノ相談イタス賦ニテ差越候處尻口モ不分故引取也。

同十二日

朝々雪降先月廿一日降り候雪未不消其上ニテ積候故甚深、我風邪氣ニテ學校ニ不出久松ニモ出席不致候處モールス来教方被致候、甚恐入也。ブラオン出立。

同十三日 曇

從九時十時迄十一時三時迄從二時三時迄、歸ニ大原来ル。

同十四日 曇

從九時十時迄モールス、從十時十一時迄ミシス、從二時頃芦、吉ノ宿江行三時歸ル。

同十五日 晴

今日學校無之久松ニハ寺江行ク。四時過ヨリ芦原、吉田、大原来ル。五時過歸ヘレリ。

今日ヨリ學校初ルマストルバクナ八時ヨリ十一時半迄、從二時五時迄。

同十六日 雪

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄歸ニ芦原、大原来ル。

同十七日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄、從二時三時迄歸ニ大原、吉田来

仁礼景範航米日記(その二)

犬塚孝明

從九時十時迄モールス、從十時十一時迄スミット亦一時ヨリ二時迄同人ヨリ習フ。

十二月朔日 雪降

從十時半亭主母サマ子共兩人吾久松同道寺江行ク。男女老少余多銘々椅子ニ付(欠字)ト云人説法ヲ成ス。其中ニ兩度音楽アリ、十一時半歸ル。從四時頃芦原、吉田、工藤、ブラオンニモ来ル。ブラオン、芦、吉ニハ歸ル。工、ニハ五時歸ル。

同二日 晴

從九時十時迄モールスト從十一時十二時迄ハモント從一時半三時迄スミット、夜從六時七時迄ハモントヨリ、帰ニ皆吾家ニ来ル。工藤明日ヨリ新約克江行ク賦也。仍テ残り噺ヲ成ス十時過歸レリ。

十二月三日 晴

從九時十時迄學校江出席歸ニ工藤新約克江行ニ付暇乞トシテ芦原、久松同道ニテ差越、十一時タライン迄見送十一時過蒸氣車来分ル。從十一時十二時迄學校一半タ三時迄學校、日入時分先生所江久松、ブラオン同道ニ而行、暫時仕歸而大原、芦原、吉田、ブラオン来七時比迄相噺。

同四日 晴

從九時十時迄、從十一時十二時迄昼後例之通學校無之日入前少シ遊ヲナス。中々雪ノ中ニテ寒強故直ニ歸ル。工藤江書状遣ス。

同五日 晴

慶應^ニ十一月二十六日 雪降 西洋ノ年首ニテ學校無之三時頃ヨリ

先生所江久松、工藤、吉田同道ニテ行ク、大原從跡来ル。吾輩新約^ニ克江行クコトヲ相談ストモ吾輩ノ趣意能ク通兼頻リニ行クコトヲ止ム。雖不能吾意ニ趣意不通故ヲ以歸ル。大抵四時頃ナラン哉。

○先日先生同道ニテスヒリンヒル^(スプリングフィールド)江衣服仕建方頼置候処出来、羅紗ニテ上着一揃メリヤス地半二枚百引^同ニツ足袋ニ足請取也。

十一月二十七日 晴

從十一時十二時迄ハモント教示。毎之通昼後學校休ニテ無之一時頃大原、工藤来ル。二時頃歸レリ。

同二十八日 晴

從十時半過大原、工藤来ル。從十一時同道學校江出昼後「スミット」差支ニテ出席無之空敷歸レル。

十一月二十九日 晴

從今日九時ニ出席モールスト云人ヨリ十時迄習、從十一時「ハモン」ヨリ音ヲ十二時迄、從一時半スミットヨリ三時迄。

同晦日 晴